

(3) 貼付・撤去

貼付：7月9日(木) 8：30～9：30

撤去：7月10日(金) 16：00～17：00

※時間内に撤去されなかった場合は、事務局にて撤去・処分させていただきます。

※開催日ごとのポスター貼り替えはございません。可能な方は1日目から貼り付けいただきますようお願いいたします。

(4) 演題発表用ボード

1. 貼付有効スペースは縦140 cm、横90 cmです。

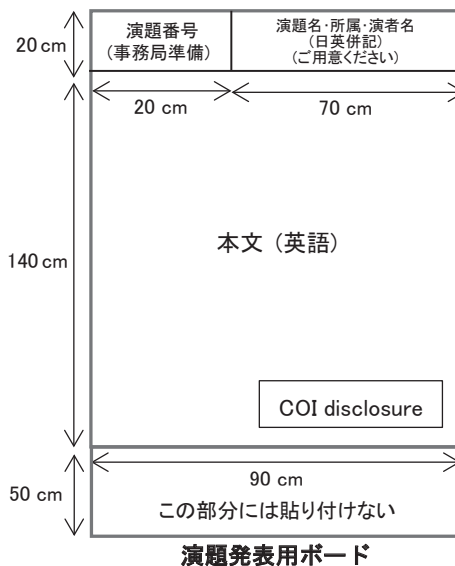
①演題番号は事務局で用意します(縦20 cm、横20 cm)。

2. 演題名、所属および演者名は各自ご注意ください(縦20 cm、横70 cm)。

3. 演題名、所属および演者名は日英併記にしてください。

4. 本文は、原則英語でのご用意ください。

5. ボードには押しピンで貼り付けてください。押しピンは会場内に用意しております。セロハンテープや糊による貼り付けはご遠慮ください。見やすい展示を心がけてください。



#### IV. 教育研修単位を取得される皆様へ

(1) 単位取得には1単位につき1,000円(消費税10%を含む)の受講料が必要です。

(2) 本学術集会において教育研修単位を取得できる講演は、特別講演、招待講演、教育研修講演、Legend seminar、Leader wisdom seminar、シンポジウム(一部)、パネルディスカッション(一部)、ランチョンセミナー、アフタヌーンセミナー、モーニングセミナーです。現地参加での取得可能単位数の上限は、合計14単位です。同時間帯に開催する講演は、いずれか1単位のみ取得可能です。現地開催後、オンデマンド配信期間中の取得可能単位数の上限は、合計8単位です。上限単位には、研修指導者講習会、骨・軟部腫瘍特別研修会の単位は含まれません。現地、オンデマンドの両方で視聴した場合でも、最大取得可能単位数は14単位です。また、オンデマンドの最大取得可能単位数は8単位です。

(3) 取得可能単位数について

	骨・軟部腫瘍学術集会参加単位	骨・軟部腫瘍学術集会での受講により取得できる最大単位数		
		現地受講	オンデマンド配信での受講	ハイブリッド受講(現地+オンデマンド)
専門医認定資格を得るための研修期間の会員	—	14 単位	8 単位	14 単位 (オンデマンド配信での最大8単位を含む)
日本専門医機構認定整形外科専門医	3 単位			

#### (4) 教育研修単位取得講演の受講手続きについて

〈現地受講の場合〉

- ・ 学術集会ホームページより単位申込画面にお進みいただき、手続きをお取りください。ただし、規定の人数に達した場合、入場できないことがありますのでご了承ください。
- ・ 受講にあたって、会員の方は QR コードが必要となりますので、必ずご用意ください。QR コードは JOINTS アプリや日整会会員ページ(JOINTS)ログイン時に表示が可能な他、参加章にも印字されています。
- ・ 講演開始 10 分前から、講演開始 10 分後まで QR コードを講演会場入口の読取機にかざして出席登録を行ってください。10 分を過ぎて受講手続きが完了していない場合、途中退場された場合には単位取得はできませんのでご注意ください。なお、シンポジウム、パネルディスカッションで単位を取得する場合は、入場時だけでなく退出時にも QR コードを読取機にかざす必要があります。

〈オンデマンド配信受講の場合〉

- ・ 学術集会ホームページより受講手続きをお済ませください。
- ・ 安定したインターネット環境でのご参加をお願いいたします。
- ・ 参加登録後にご案内する学術集会視聴サイトの該当セッションページより受講ください。セッション終了後 10 分以内に、「視聴終了」ボタンを押し、表示される設問に回答ください。設問に正解すると単位取得が認められます。
- ・ 現地受講とオンデマンド受講では、同一講習での単位の重複取得はできません。以下の場合、受講履歴がクリアされるため、単位取得が認められませんのでご注意ください。
- ・ 視聴開始したあと、別のページに移動する。
- ・ ブラウザの「戻る」ボタンで戻る。
- ・ ブラウザを閉じる。

#### (5) オンデマンド配信セッション教育研修単位の取得について

【不正受講の禁止等】

学術総会等における講演その他の単位を申請する教育研修の受講は、参加者が高度な学識と技能を習得するために必要なものです。さらに、教育研修単位として申請をされている場合は、わが国における専門医制度の運営の基盤となるものです。

オンデマンドプログラムを受講する際に閲覧する動画が「早送り」をされたり、オンデマンド配信セッションの受講時に同じ時間帯に複数の端末等で再生がされた場合は、記録している「ログ」をもとに、不正受講が行われたと判断します。不正受講は、学術集会等の意義を毀損するとともに、医師としての資質に重大な疑いを生じさせ、専門医制度の円滑な運営に支障を生じさせる行為です。不正受講をした会員に対しては、単位の不認定は当然として、厳正に対処します。絶対にお止めください。

なお、一旦教育研修単位の申請をされた以上は、支払われた受講手続費用は返金しません。

【不正受講とみなされること】

1. 講演の初回視聴をスキップ(早送り)して e テスティングに合格して単位申請すること。
2. 複数の PC・タブレット等で同時に視聴を行い e テスティングに合格して単位申請すること。
3. 複数のブラウザやタブを用いて同時に視聴を行い e テスティングに合格して単位申請

をすること。

4. 視聴前に e テスティングの設問画面にアクセスして解答すること。
5. 複数講演を同時に受講開始しておき、追って順番に視聴すること。
6. 視聴後、時間が経過してからまとめて解答すること。
7. 他人に視聴あるいは e テスティングを委託して単位申請すること。
8. その他、本学会、教育研修委員会が不正と判断すること。

#### 【不正行為の予防のために】

- e テスティング合格後の単位申請について  
講演をすべて視聴した後に、すみやかに設問に解答して、正解(共通講習では 80%以上)の場合に限り、申請後に単位が付与されます。
- e テスティング解答開始までの時間制限  
講演の視聴終了後、10 分以内に設問の解答を開始した場合に単位申請を認めます。視聴終了後 10 分を超えた時間が経過して e テスティングの解答を開始した場合の単位申請は認めません。
- e テスティング解答時間の時間制限  
解答時間には制限を設けます(領域講習(設問 1 題, 5 択形式)は 30 分以内, 共通講習(設問 5 題, 5 択形式)は 60 分以内)。視聴後、「視聴終了」ボタンをクリックしたら、すぐに回答を始めてください。一度クリックされますと取消しができませんので、制限時間内に必ず解答してください。超過した場合、理由の如何を問わず単位取得は認められません。
- 初回の早送りや視聴時間の短縮をした聴講による単位申請を認めません。
- 複数講演の同時視聴あるいはローディングした聴講による単位申請は認めません。
- 不正受講と認定された場合でも返金はいたしません。
- オンデマンド配信の一時停止機能の時間制限  
聴講時に一時停止を認めます。ただし、一時停止の上限は累計(停止回数は問わない)で 24 時間とし、それを超えた場合には再受講をしなければなりません。

#### 【特例措置】

子育て中の医師については、特例措置を設けます。申請は、申請は、日整会会員ページ(JOINTS)の「e ラーニング> e ラーニング>特例措置申請」にお進みいただき、「新規登録」を選択後、申請事由等の入力、母子保健手帳の表紙と 1 ページ目の写しあるいは障害者手帳の写しを添付し、申請してください。審査後、承認された医師に限り、解答時間開始および解答時間の時間制限、一時停止時間の上限を設けません。

特例措置期間は 1 年間としますが、再申請により延長を可能とします。なお、母子手帳の「子の氏名」部分は伏せてください。また、健常児の特例措置の適用は、未就学児のみとします。

#### (6) 研修受講履歴の確認について

- 骨・軟部腫瘍学術集会オンデマンド配信期間終了から一定期間後に取得単位が反映されます。詳細な反映時期は未定のため、決まり次第学術集会ホームページでお知らせします。日整会会員ページ(JOINTS)の「資格・単位>専門医>単位振替」で単位取得状況をお確かめください。
- 取得した単位で、複数の必須分野等が認定されている場合、自動的に小さい方の分野番号として登録されます。N1, N3, R が認定されている場合、自動的に N1 になります。

N3やRの単位として登録したい場合は後日「単位振替」を使って変更してください。なお、受講された単位が取得可能単位数を超過した場合や同一時間帯での複数受講記録がある場合は過誤データとなりますので、「単位振替」で超過分などの削除を行ってください。単位反映後3カ月以内にご自身で訂正されなかった場合には一定のルールに従って、機械的に削除されますのでご注意ください。

(7) 骨・軟部腫瘍学術集会参加単位の取得

骨・軟部学術集会参加単位は、オンデマンド配信期間終了後に、参加登録情報に基づいて自動的に登録されます。整形外科専門医の学会参加単位は5年間で6単位まで認められます。

## V. 第73回 日本整形外科学会骨・軟部腫瘍特別研修会開催について

本学術集会において、骨・軟部腫瘍取扱いについての特別研修会を以下の要領で開催いたします。この研修会の2つの講演を受講すると整形外科専門医試験の受験申請に必要な腫瘍の単位2単位が取得できます。

- 内 容 : 1. 「骨腫瘍の診断と治療」  
講師 永野昭仁(岐阜大学整形外科学教室)  
2. 「骨転移の診断と治療」  
講師 須佐美知郎(防衛医科大学校整形外科学講座)
- 日 時 : 7月10日(金) 16:00~18:00
- 会 場 : 第1会場(中日ホール&カンファレンス6階 ホール)
- 対 象 : 未整形外科専門医(今後、整形外科専門医試験を受験予定の方)
- 定 員 : 560名
- 受講方法 : 骨・軟部腫瘍特別研修会の受講には、本学術集会の参加登録が必要です。  
(現地受講の場合)参加登録後、定刻までにご来場ください。遅刻・早退は認められません。  
(オンデマンド受講の場合)参加登録後、オンデマンド配信サイトからご視聴ください。

## VI. 第42回 日本整形外科学会研修指導者講習会開催について

- 内 容 : 1. 「感染対策の最新情報 ―整形外科指導者にも覚えておいて欲しいこと―」  
講師 八木哲也(名古屋大学大学院医学系研究科臨床感染統御学)  
2. 「整形外科指導者としての医療安全管理」  
講師 内山勝文(北里大学医学部整形外科学教室 医療安全・管理学研究部門)
- 対 象 : 日整会認定研修施設等の指導的立場の整形外科専門医
- 受講方法 : 研修指導者講習会の受講には、本学術集会の参加登録が必要です。  
参加登録後、オンデマンド配信サイトからご視聴ください。

## 第59回 日本整形外科学会 骨・軟部腫瘍学術集会 講演一覧

### 特別講演

No.	タイトル	講師	抄録	会場	日時		単位 種別	必須 分野	認定番号 26-0261
1	マウス骨肉腫幹細胞モデルを用いた難治がん治療戦略の考案	佐谷秀行	S1359	1	9日	13:20-14:20	N	1, 5	013

### 文化講演

No.	タイトル	講師	抄録	会場	日時	
1	徳川慶喜からひもとく未来へと歴史を動かす力	山岸美喜	S1448	1	10日	10:50-11:50

### 招待講演

No.	タイトル	講師	抄録	会場	日時		単位 種別	必須 分野	認定番号 26-0261
1	The evolution of sarcoma classification: Challenges and promises	Angelo Paolo Dei Tos	S1358	1	9日	10:40-11:40	N	1, 5	007
2	骨・軟部腫瘍におけるがんゲノム検査の臨床的有用性と診断的有用性	西原広史	S1376	3		9:40-10:40	N	1, 5	004
3	Latest edition of the global management consensus from the Desmoid Tumor Working Group: Incorporating the patient voice	Bernd Kasper	S1411	5		14:30-15:30	N	5	017
4	Innovation in orthopaedic oncology	Nicholas M. Bernthal	S1450	1	10日	13:20-14:20	N	5	033
5	One size does not fit all: Rethinking perioperative radiotherapy in extremity soft tissue sarcoma	Ilkyu Han	S1495	5		10:50-11:50	N	5	027

### 教育研修講演

No.	タイトル	講師	抄録	会場	日時		単位 種別	必須 分野	認定番号 26-0261
1	骨腫瘍の病理診断 2026	吉田朗彦	S1373	2	9日	15:40-16:40	N	1, 5	018
2	手術部位感染の管理 —第3回国際コンセンサス会議(2025)の成果—	森井健司	S1376	3		8:30-9:30	N	14-2	001
3	骨・軟部腫瘍患者の活動を支える薬物治療—Medical oncologistの視点から—	安藤雄一	S1378			13:20-14:20	N	5	014
4	国際生活機能分類(ICF)モデルに基づいた骨・軟部腫瘍のリハビリテーション治療	津田英一	S1410	5		13:20-14:20	N, Re	5, 13	015
5	患者安全の全体像と展望	長尾能雅	S1450	1	10日	14:30-15:30	N	14-1	038
6	脈管異常のISSVA分類とIVRにおける診療連携	大須賀慶悟	S1462	3		9:50-10:50	N	3, 5	025

## Legend seminar

No.	タイトル	講師	抄録	会場	日時	単位種別	必須分野	認定番号 26-0261	
1	整形外科腫瘍医におけるジェネラリストのススメ	片桐浩久	S1377	3	9日	10:50-11:50	N	5	008
	易出血性軟部腫瘍に対する周囲2重結紮法を用いた手術治療	生越 章							
2	あらためて問い直す「整形外科に骨・軟部腫瘍領域が存在する意義」—Orthopaedic oncologyとonco-orthopaedics—	河野博隆	S1379	3	9日	14:30-15:30	N	5	016
	Viel Spaß —骨・軟部腫瘍診療40年、活動を育む医療—	尾崎敏文							
3	高悪性度骨肉腫に対する臨床試験における患者価値観とpatient and public involvement導入の必要性	平賀博明	S1458	2	10日	13:20-14:20	N	5	035
	肉腫治療におけるエビデンス創出の軌跡と未来	田仲和宏							
4	Pelvic bone surgery for malignant tumors: Things to be considered	Han-Soo Kim	S1468	3	10日	14:30-15:30	N	5	037
	骨・軟部腫瘍の明日のために	川井 章							

## Leader wisdom seminar

No.	タイトル	講師	抄録	会場	日時	単位種別	必須分野	認定番号 26-0261	
1	骨・軟部腫瘍専門医として医学・医療を俯瞰し、牽引する	川島寛之	S1461	3	10日	8:40-9:40	N	5	023
	臨床から学ぶ組織論 —サルコーマ診療から考えるリーダーシップ—	松本嘉寛							
2	日本整形外科学会骨・軟部腫瘍委員会ができること	平岡弘二	S1467	3	10日	13:20-14:20	N	1, 5	034
	基礎医学の視点から見た骨・軟部腫瘍学の学術的魅力	堀内圭輔							
3	未来は貴方たちの手の中 一次世代に繋ぐ国際研究連携—	岩田慎太郎	S1475	4	10日	9:40-10:40	N	5	024
	骨・軟部腫瘍研究の「経糸」と「緯糸」—JMOGが紡ぐ希少疾患への挑戦と次世代育成—	今西淳悟							

## シンポジウム

No.	タイトル	座長	抄録	会場	日時	単位種別	必須分野	認定番号 26-0261	
1	Onco-Orthopaedics:ADL/QOL向上をめざした整形外科診療	河野博隆, 片桐浩久	S1355-57	1	9日	8:30-9:30	N	4, 5	002
2	希少がんにおける薬剤開発:患者の生命予後・QOLの向上をめざして	浦川浩, 平賀博明	S1360-62		14:40-16:40				
3	希少疾患・がん領域の若手育成	松本嘉寛, 川島寛之	S1363-65	2	9日	8:30-10:00	N	5	003
4	デスマイド:患者のADL/QOLは向上したか	岩田慎太郎, 遠藤 誠	S1366-68			10:10-11:50	N	5	005

No.	タイトル	座長	抄録	会場	日時		単位種別	必須分野	認定番号 26-0261
5	ADL/QOLを考慮した骨盤腫瘍の治療および切除後骨・軟部再建	尾崎敏文, 筑紫 聡	S1445-47	1	10日	8:40-10:40	N	5, 11	022
6	患者の期待に応える遺伝子パネル検査	竹中 聡, 近藤千晶	S1454-56	2		10:30-12:00	N	1, 5	026
7	日整会-JSTAR共催シンポジウム:希少がんである骨・軟部肉腫患者の活動を育む	川井 章, 南 博信	S1492-94	5		8:40-10:40			
8	神経線維腫症1型に発症する悪性末梢神経鞘腫瘍	秋末敏宏, 中山ロバート	S1496-98			13:20-15:10			

## パネルディスカッション

No.	タイトル	座長	抄録	会場	日時		単位種別	必須分野	認定番号 26-0261
1	患者の活動を育む基礎・トランスレーショナル研究	朴木寛弥, 堀内圭輔	S1407-09	5	9日	10:10-11:50	N	1, 5	006
2	つなぐAYA肉腫ケア —多職種で支え, 社会復帰への活動を育む—	米本 司, 生田国大	S1451-53	2	10日	8:30-10:20			
3	遺伝子パネルで何がわかるか	鳥越知明, 山本憲男	S1499-1500	5		15:20-16:35			

## 症例検討会

No.	タイトル	座長	抄録	会場	日時	
1	症例検討会	元井 亨, 野崎太希, 小池 宏	S1374-75	2	9日	16:50-18:50

## Bone Tumor Club

No.	タイトル	座長	抄録	会場	日時	
1	Bone Tumor Club I	阿部 信, 竹中 聡	S1370-71	2	9日	13:20-14:20
2	Bone Tumor Club II	八木春奈, 中村知樹	S1371-72			14:30-15:30

## ランチョンセミナー

No.	タイトル	講師	抄録	会場	日時		単位種別	必須分野	認定番号 26-0261
1	長期生存時代の骨腫瘍治療 —骨転移・骨肉腫における腫瘍用人工関節の役割を再考する—	竹中 聡	S1358	1	9日	12:10-13:10	N	5, 12	009
2	NF1地域診療体制の構築 —希少がん・サルコマーセンターを核とした連携モデル—	箱崎道之	S1369	2			N	5	010
	成人NF1 (PN) に対するセルメチニブ導入の実臨床	吉田新一郎							
3	腫瘍切除後人工膝関節再建の最適化を目指して —GMRSの中長期アウトカムと実践的戦略—	阿江啓介	S1378	3			N	5, 12	011
4	転移性脊椎腫瘍に対する治療戦略 —Fenestrated screwの有用性も含めて—	加藤仁志	S1410	5	N, SS	5, 7	012		

No.	タイトル	講師	抄録	会場	日時	単位種別	必須分野	認定番号 26-0261			
5	上腕骨腫瘍切除後再建における腫瘍用人工関節の役割 —RSAの適応とピットフォール—	鍋島 央	S1449	1	10日 12:10-13:10	N	5, 9	028			
	上肢悪性骨腫瘍治療における再建術の現状と課題	白井寿治									
6	McCune-Albright症候群の診断と治療 —Shepherd's crook変形への対応と「隠れたくる病/骨軟化症」の再考—	今西淳悟	S1457	2							
	腫瘍性骨軟化症の診断と治療戦略 —見逃さないための実践的アプローチ—	中山ロバート									
7	ISSVA(The International Society for the Study of Vascular Anomalies)分類とシロリムスの使い方	小関道夫	S1466	3							
	当院における血管腫・血管奇形に対する治療経験 —整形外科の立場から—	藤井宏真									
8	骨軟化症を呈する症例の鑑別ポイント —低ホスファターゼ症の診断と治療—	遠藤逸朗	S1479	4					N	3, 4	031
9	転移性骨腫瘍および多発性骨髄腫による椎体骨折に対する外科的治療 —診療連携の実際とBKRPの位置付け—	片柳順也	S1495	5					N, SS	5, 7	032

#### アフタヌーンセミナー

No.	タイトル	講師	抄録	会場	日時	単位種別	必須分野	認定番号 26-0261
1	肉腫における理想的なゲノム診療とは？	中田英二	S1380	3	9日 15:40-16:40	N	1, 5	019
	骨・軟部腫瘍におけるがん遺伝子パネル検査 —実臨床でどう使い、どこに限界があるのか—	小林 寛						
2	差分画像を用いた転移性脊椎腫瘍の診断支援システムの構築	中谷文彦	S1412	5				
	転移性骨腫瘍診療におけるTemporal Subtraction For Boneが果たす役割	土江博幸						
3	がん診療に骨転移治療はどこまで貢献できるか？ —骨修飾薬と神経障害性疼痛治療によるPS維持の重要性—	秋山 達	S1459	2	10日 14:30-15:30	N	5	036

#### モーニングセミナー

No.	タイトル	講師	抄録	会場	日時	単位種別	必須分野	認定番号 26-0261
1	骨・軟部腫瘍に対するCTガイド下アブレーション療法の現状と展望	中山ロバート	S1460	3	10日 7:30-8:30	N	5	021
	骨・軟部腫瘍に対するアブレーション治療	山門亨一郎						

日整会認定教育研修 受講取得単位 (認定単位種別)

---

N:日整会専門医単位 S:スポーツ医単位 R:リウマチ医単位  
SS:脊椎脊髄病医単位 Re:運動器リハビリテーション医単位

日整会認定教育研修 受講必須分野 (専門医必須14分野)

---

- 1 整形外科基礎科学
  - 2 外傷性疾患(スポーツ障害を含む)
  - 3 小児整形外科疾患(先天異常, 骨系統疾患を含む, ただし外傷を除く)
  - 4 代謝性骨疾患(骨粗鬆症を含む)
  - 5 骨・軟部腫瘍
  - 6 リウマチ性疾患, 感染症
  - 7 脊椎・脊髄疾患
  - 8 神経・筋疾患(末梢神経麻痺を含む)
  - 9 肩甲帯・肩・肘関節疾患
  - 10 手関節・手疾患(外傷を含む)
  - 11 骨盤・股関節疾患
  - 12 膝・足関節・足疾患
  - 13 リハビリテーション(理学療法, 義肢装具を含む)
  - 14-1 医療安全
  - 14-2 感染対策
  - 14-3 医療倫理
  - 14-4 その他の共通講習
  - 14-5 1～13に当てはまらない領域講習
- 

14-1～4は機構認定専門医共通講習。

14-1～3は機構認定専門医必修講習で, 5年間で各1回以上受講しなければならない。